

概要版

第4次

# 南関町地域福祉計画 地域福祉活動計画

令和4年度 - 令和8年度



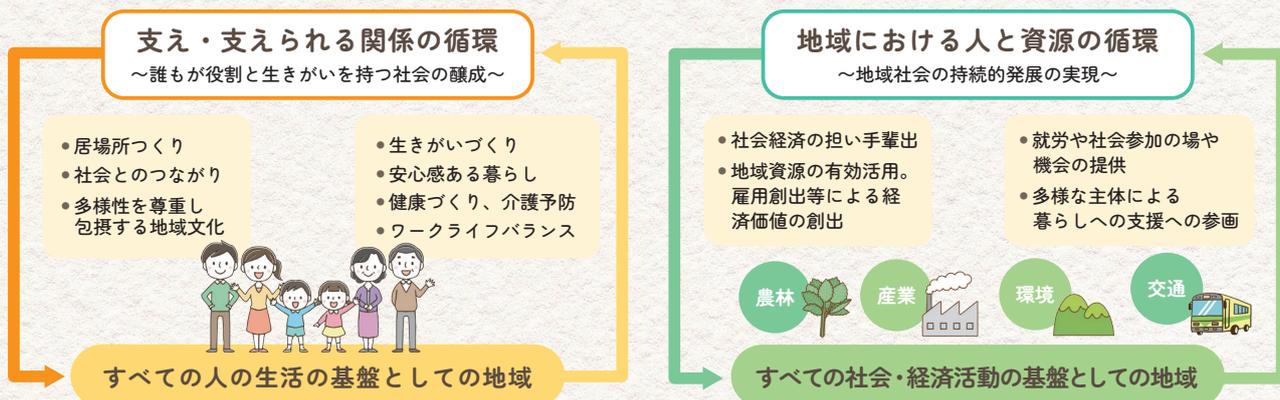
令和4年3月

熊本県南関町／南関町社会福祉協議会

## 『地域福祉計画』『地域福祉活動計画』とは

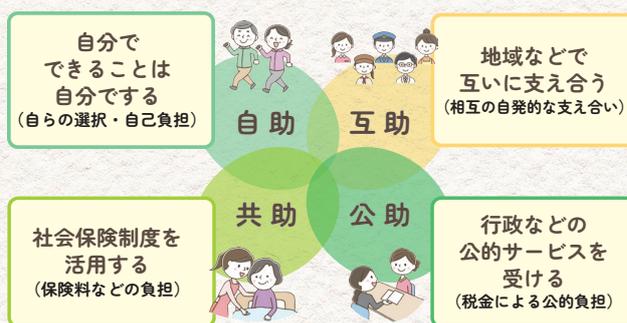
地域福祉計画とは、住民のつながりを強め、相互の支え合いによる福祉活動を推進するとともに、住民による福祉活動と行政による公的なサービスを結び付け、様々な生活課題の解決を目指す計画であり、地域福祉活動計画は、地域福祉の推進に関わるすべての人が、地域の福祉課題を共有し、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりを実現するためにどのような取組を行うべきか取りまとめた計画です。行政計画である地域福祉計画と連携・協働しつつ、地域福祉推進に関わる福祉・保健等の関係団体や事業者、ボランティアや各種 NPO 法人、そして地域住民一人ひとりが、それぞれの立場で今後の地域福祉を推進していくことを目的とする民間の活動・行動計画です。

制度・分野ごとの『縦割り』や『支え手』『受け手』という関係を越えて、  
地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として参画し、  
人と人、人と資源が世代や分野を越えて『丸ごと』つながることで、  
住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会

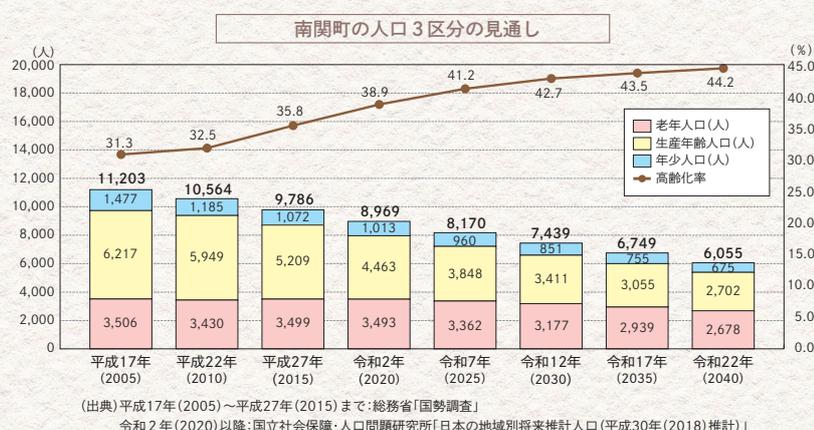


## 地域福祉の目指すところ

「福祉や保健などの多様な生活課題に地域全体で取り組む仕組み」と捉え、行政や事業者だけではなく、地域住民もその課題解決に向け、自発的に取り組み、地域に即した創意と工夫による福祉活動を総合的に推進します。したがって、高齢者、障がい者、子どもなど、対象者ごとに捉えられている福祉に対して地域社会を基盤とし、協働に基づいて、身近な地域社会を構築することで、一人ひとりのよりよい福祉の実現を目指すものです。



## 南関町における地域福祉を取り巻く現状と課題



### 総人口の推移と将来設計

本町の人口の推移をみると、総人口は減少傾向であり、令和2年(2020年)では8,969人(3月末)となっています。年齢区分別人口割合をみると、年少人口及び生産年齢人口(64歳未満)の人口の減少にともない、老年人口(65歳以上)の人口割合が増加し、令和22年(2040年)に高齢化率は44.2%になると予測されています。

## 南関町が目指す地域共生社会

### 地域共生社会とは？

制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて『丸ごと』つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をとともに創っていく社会のことです。

### 今ある人や資源のつながりの在り方を検討し、「関わり合う」地域をつくる

- ① 仕組みや枠組みに捉われず、地域課題の解決に取り組む“コミュニティ”づくり
- ② 多様なつながりが生まれ、誰もが社会参加できる地域づくり
- ③ 多様な“コミュニティ”と専門職・行政との連携

地域共生社会の実現へ

「支え手」「受け手」に分かれるのではなく、地域のあらゆる住民が役割を持ち、支え合いながら、自分らしく活躍できる地域コミュニティづくりを行い、公的な福祉サービスと住民主体の活動が協働し、助け合いながら暮らすことのできる「地域共生社会」の実現を目指します。

## 計画の期間

令和4年度から令和8年度までの5年間とします。社会情勢の変化や関連計画との整合性を図るため、計画の中間年度である令和6年度に中間評価を行います。そのほか令和4年度より毎年1回、前年度の取組状況について関係各課・関係団体と協議し、地域福祉の推進に向けた施策等への反映と計画の見直しを行います。

# 基本理念及び基本目標

本計画では、第1次南関町地域福祉計画において定めた「誰にでもどんなときにもやさしいまちづくり」を基本理念として継承し、福祉に関するより一層充実した取組を図り、すべての町民が安心して暮らせる、人にやさしいまちの実現を目指します。

## 基本理念

誰にでも どんなときにも  
やさしいまちづくり



## 基本目標1 地域で支え合い、助け合うまちづくり

地域での支え合いや助け合いの仕組みと体制を整備するとともに、福祉サービスの提供体制の充実を図ることで、地域において住民一人ひとりが自立性と主体性を持った環境づくりに努めます。

- 1 地域における身近な助け合い
- 2 気軽に集える交流の場と居場所づくり
- 3 福祉サービスの充実とネットワークの強化

### 社協の事業

- ふれあいサロン ● 福祉員活動の推進 ● 生活支援体制整備事業
- 認知症サポーターの普及推進 ● 地域福祉活動助成金事業
- ファミリー・サポート・センター事業 ● 居宅介護支援事業
- 訪問介護事業 ● 介護予防・日常生活支援総合事業
- 障がい者自立支援サービス事業 など

## 基本目標2 地域に関心を持ち、活気のあるまちづくり

地域福祉を担う人材の確保と福祉教育を通じた人材育成の推進を図り、住民の福祉に対する関心を高めるとともに、地域活動やボランティア活動の活性化により、すべての人が社会参加できる体制づくりを目指します。

- 1 福祉教育活動及び福祉人材の育成
- 2 地域活動・ボランティア活動による社会参加促進
- 3 情報提供の充実

### 社協の事業

- 福祉員活動の推進 ● 社会福祉協議会会員募集
- ボランティア活動の啓発及び推進
- 赤い羽根共同募金運動 など

## 基本目標3 地域で安心・安全な暮らしを支えるまちづくり

災害などから町民を守るための活動を進めるとともに、成年後見制度の利用促進や虐待・暴力などの人権侵害への対応、男女平等なまちづくりを目指し、安心・安全な暮らしを地域で支える体制の強化を図ります。

- 1 人権と福祉の制度や支援を考える地域づくり
- 2 災害に備えた地域づくり
- 3 成年後見制度の利用促進（成年後見制度利用促進計画）
- 4 虐待防止のための支援強化

### 社協の事業

- 災害ボランティアセンターの機能強化
- 地域福祉権利擁護事業
- 預かりサービス
- 健康と福祉のつどい など

## 基本目標4 地域のニーズに対応できるまちづくり

地域において子どもから高齢者まで、すべての人が安心して快適に生活できるよう、福祉などに関する相談体制の充実や様々な関係機関が連携した包括的な支援を行う体制づくりを進めるとともに、生活環境の整備に取り組みます。

- 1 包括的な相談支援体制の充実
- 2 すべての人にやさしい住環境の整備

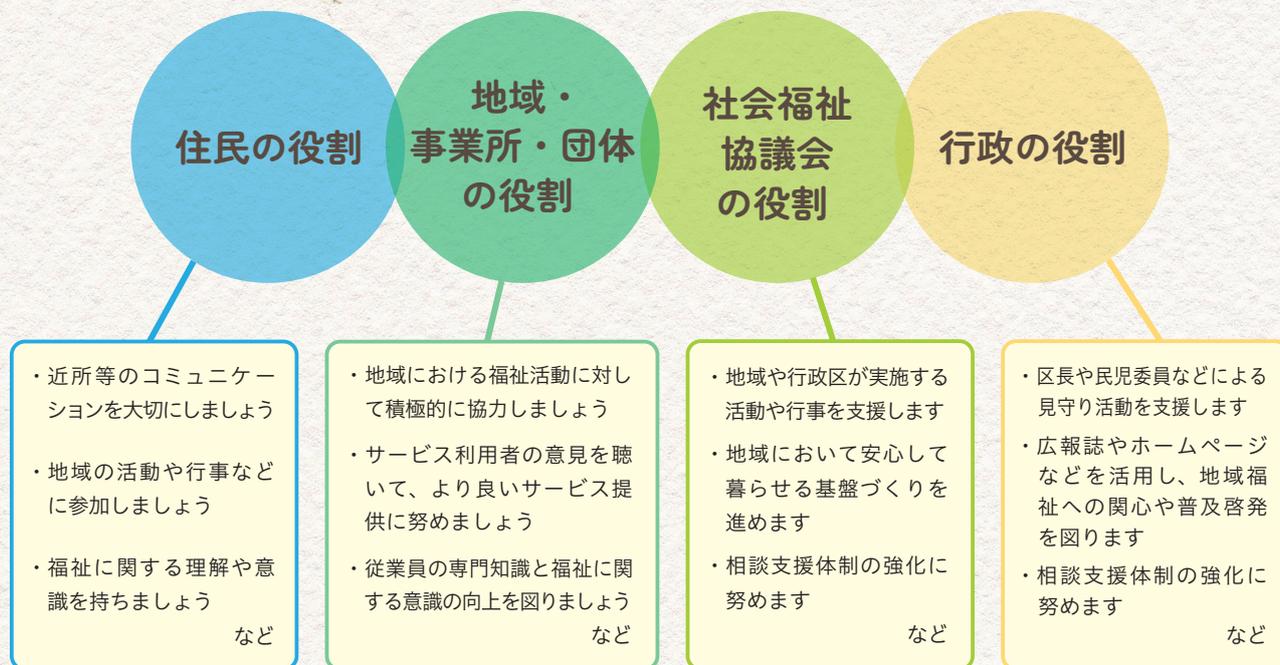
### 社協の事業

- 生活困窮者自立支援事業 ● 心配ごと相談
- 無料法律相談 ● 高齢者移送サービス事業 など

共に支え合う地域コミュニティづくり

## 各主体の役割

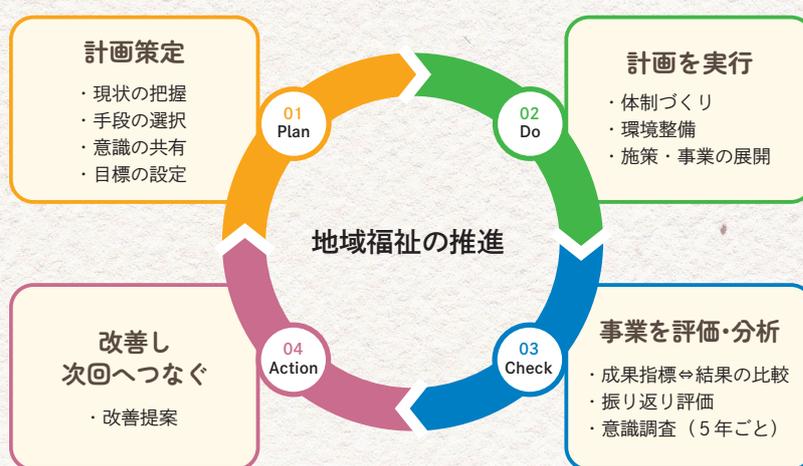
本町が目指す基本理念「誰にでもどんなときにもやさしいまちづくり」の達成に向けて、行政だけではなく、町民や行政区、社会福祉協議会、地域の活動団体、地域で活動する社会福祉関係団体など、各主体それぞれが多様性を受け止め、お互いに協働・連携して計画を推進していくことが大切です。



## 計画の進行管理及び進捗状況の評価

本計画に基づく地域福祉の取組を効果的かつ継続的に推進していくため、住民や地域の組織、団体の代表、福祉関係団体の代表等により構成する「南関町地域福祉計画等進行管理委員会」を設置します。

また、PDCA サイクル（計画策定—計画実行—事業評価—見直し）により、進捗状況の評価、結果の反映、施策の見直しを行い、次計画の策定前には住民意識調査等を実施し、計画の進捗管理の資料とします。



## 第4次 南関町地域福祉計画・地域福祉活動計画（概要版）

発行年月日：令和4年3月

発行：南関町役場 福祉課

〒861-0898 熊本県玉名郡南関町大字関町64  
電話：0968-53-1111 FAX：0968-53-2351

社会福祉法人 南関町社会福祉協議会

〒861-0811 熊本県玉名郡南関町大字小原1405  
電話：0968-69-9020 FAX：0968-53-2744

